

心豊かな「すてきさん」つくり ～ えがお ・ げんき ・ あいさつ ～

かんがえ、やってみる子 いたわり、助け合う子 せいっぱいがんばる子 いまいきと元気な子

落ち葉やどんぐりを使って
作った作品(年中児)



開成町立開成幼稚園

第8号

発行日：令和7年11月28日(金)

発行者：杉山 孝史

たいよう通信

2学期のしめくくり

2学期も残すところあと1か月です。暦の上ではすでに冬を迎えていますが、晴れた日には上着がなくても過ごせるような、小春日和の陽気が続いています。ただ、朝晩は冬の寒さを肌で感じるようになってきました。季節の変わり目は一日の寒暖差が大きくなり、空気の乾燥とともに風邪やインフルエンザなどの流行も心配されます。どうぞ体調には十分ご留意ください。

さて、幼稚園では2学期のまとめの時期に入りました。子どもたちと一緒に、これまでの遊びや生活を振り返りながら、3学期へとつなげていければと考えています。また、12月16日(火)からは保護者面談も予定しております。引き続き、皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

弥一芋 とったよ！

夏の猛暑と水不足を乗り越え、今年も開成弥一芋が立派な実をつけました。5月下旬、年長の子どもたちは、県立吉田島高校の先生に教えていただきながら畑に種芋を植えました。それから半年、里芋たちは土の中でゆっくりじっくりと育ってきました。



11月7日(金)、ついに里芋たちと対面する日です。朝から年長の子どもたちはわくわく気分であっぴかりでした。チームガーデニングさんに助けていただきながら、一株ずつ丁寧に掘り起こしていきました。「弥一芋あったあ」「なかなか抜けないぞ」「とれた、とれた」畑いっぱいに喜びと驚きの声が広がっていました。収穫した里芋は合わせて27kg。子芋は給食でいただき、親芋は来年のためにすくすく広場の一角に埋めました。(右下写真)開成弥一芋を通して、子どもたちは、収穫の喜びや自然の恵み、活動を支えてくださった方々への感謝の気持ちを学ぶことができました。



公園で遊んだよ

11月19日(水)、年少組の子どもたちは幼稚園バスに乗って開成水辺スポーツ公園へ出かけました。出発時は小雨が落ちてきましたが、公園に着くと雨も止み、小田急線に向かって「お～い」と手を振る子もいました。電車ごっこや追いかけっこをして広場で元気に遊んできました。この日は日差しがまったくなく寒かったため、お弁当は幼稚園に戻ってからゆうぎ室で食べました。食後にはまっちゃんに教わった遊び歌で楽しい時間を過ごしました。



11月26日(水)には、徒歩で筆崎(かごさき)公園へ出かけました。すっきりと晴れたポカポカ陽気の中、中央の小高い山に登ったり滑り台で滑ったり、電車ごっこやバナオニなどを楽しみました。行きと帰りには「三本指の約束」で安全に道を渡るすてきさでした。年少児は、園外保育でのびのびと過ごすことで、友達との関わりをさらに深めていました。

うさぎ組 研究保育

幼稚園見学ウィーク期間中の11月21日(金)、年中・うさぎ組の研究保育を行いました。縄跳びや鬼ごっこ、折り紙、どんぐりや落ち葉を使った製作など、きりん組の友達と交流しながら、子どもたちは思い思いの遊びを楽しんでいました。担任は一人一人の思いを受け止め、イメージを広げながら笑顔で丁寧に関わっていました。生き生きと活動するうさぎ組の子どもたちの姿が、とても印象的でした。



午後の研究会では、前教育長であり元開成幼稚園長の井上義文先生から、「子どもの豊かな体験を積み重ねるために」と題してご講話をいただきました。幼小連携や環境を通じた幼児教育の重要性、教師が子どもの良き伴走者となることの大切さなど、多くの学びを得る貴重な時間となりました。

幼稚園見学ウィーク期間中の11月21日(金)、年中・うさぎ組の研究保育を行いました。縄跳びや鬼ごっこ、折り紙、どんぐりや落ち葉を使った製作など、きりん組の友達と交流しながら、子どもたちは思い思いの遊びを楽しんでいました。担任は一人一人の思いを受け止め、イメージを広げながら笑顔で丁寧に関わっていました。生き生きと活動するうさぎ組の子どもたちの姿が、とても印象的でした。

まっちゃんと遊ぼう！

つながりあそび・うた研究所の“まっちゃん”（町田浩志さん）をお呼びして、年長・年少親子のふれあひ遊びを11月13日（木）に開催しました。

まっちゃんの遊びは、単に楽しいだけでなく、安心や共感、仲間といった心のつながりを大切にしているのが特徴です。まっちゃんが奏でるギターの音色と優しい歌声に合わせて、身体を動かしたり、グループで自己紹介をし合ったりと、親子や保護者どうして楽しい時間を過ごしました。



最後に、我が子を抱っこするお母さんやお父さん、そして子どもたちに向けて、まっちゃんから心のこもったメッセージが贈られました。「いっばい子どもを抱っこしてあげてください。年をとったら、今度は子どもに抱っこしてもらいたいよね。子育てをがんばり過ぎない、困ったら誰かを頼ってください。」「子どもたちは、ゆっくり大人になればいい。大人もたくさん失敗し大きくなったんだ。」その優しい語りかけに、胸が熱くなりました。まっちゃん、素敵な時間のプレゼント、ありがとうございました。

最後に、我が子を抱っこするお母さんやお父さん、そして子どもたちに向けて、まっちゃんから心のこもったメッセージが贈られました。「いっばい子どもを抱っこしてあげてください。年をとったら、今度は子どもに抱っこしてもらいたいよね。子育てをがんばり過ぎない、困ったら誰かを頼ってください。」「子どもたちは、ゆっくり大人になればいい。大人もたくさん失敗し大きくなったんだ。」その優しい語りかけに、胸が熱くなりました。まっちゃん、素敵な時間のプレゼント、ありがとうございました。

第2回学校運営協議会開催

11月11日（火）、第2回学校運営協議会を開催しました。今回は、委員の皆さまに子どもたちと一緒に給食を試食していただき、和やかな雰囲気の中で楽しいひとときを過ごしていただきました。

午後からの会議では、はじめに学年主任より各学年の子どもたちの様子について説明をし、その後「評価部」と「支援部」の2部会に分かれて、委員の皆さまからご意見をいただきました。

この日も、幼稚園の良さや課題について、多方面から貴重なご意見をいただきました。皆さまからのご意見は、今後の園運営にしっかりと生かしてまいります。ご多用の中ご参加いただき、誠にありがとうございました。

▶ 会議で話題になったこと ◀

○ルックミーなどのICT機器の活用は、先生方の働き方改革につながっている。一方、個人情報スマートフォンで手軽に共有できるため、家庭での取り扱いには十分注意する必要がある。

○小学校入学と同時に文字の学習が始まることに不安を感じる保護者もいるようだ。幼稚園では、作品に名前を書いたり、手紙やカルタで遊んだりしながら、自然に興味を持てるようにしている。

OPTA やボランティア活動はポジティブに活動していけると良い。そのためにも、活動の仕方を工夫していく必要がある。



記念日

▼一年の中には、さまざまな記念日があります。

カレンダーをめくると、「今日は〇〇の日」と書かれているのを見つけて、思わず「へえ」となることもあります。例えば、2月22日はニャンニャンニャンで「猫の日」、11月22日は「いい夫婦の日」というように語呂合わせで覚えやすい記念日もあります。また、11月11日の「ボッキー＆フリッツの日」のように、数字の形になぞらえて決められた日もあります。さらには、8月15日の「終戦記念日」のように、歴史的な出来事を忘れないために定められた記念日もあります。▼では、11月16日は何の日かご存じでしょうか。この日は「幼稚園記念日」です。1876年（明治9年）に日本で初めての官立幼稚園が開園したことに由来します。小さな子どもたちが、家庭を離れてはじめて外で過ごす場所としての幼稚園。その始まりを思うと、価値のある大きな一歩だと言えます。ちなみに、開成幼稚園の開園記念日は3月10日です。今の場所に園舎が建てられ、387名の園児が生活していました。▼さて、開成幼稚園には、毎月のように小さな記念日があります。それは誕生月の子どもたちをお祝いする「誕生会」です。保護者の方を招いて、学年ごとに行われるその会は、子どもたちにとって特別な日です。自分の誕生日をみんなが笑顔で祝ってくれることで、「自分は大切にされている」と感じるができます。また、他の子にとっては「友達をお祝いする嬉しさや思いやりの心」が育まれます。▼忙しい毎日の中で、記念日を意識することはほとんどありません。でも、「今日は何の日かな？」と調べてみると、思いがけない発見があるかもしれません。それは、昔の出来事だったり、誰かの願いだったり、自分の思い出につながることもあります。記念日は、日々の暮らしの中にある小さな宝石です。「今日という日にも、きつと何かの意味がある」そんなふうに思えたら、毎日が少しだけ温かく、豊かになるはずです。たとえ誕生日でなくても、記念日でなくても、給料日でなくても「毎日スペシャル」——そう思える気持ちで、平凡な日常を特別な日に変えてくれるのかもしれない。

